

就任4年目・伊藤監督意識改革「明るく楽しくスティックに」

# 国学院大ラグビー部

全力！  
大学スポーツ

# エンジョイスタイルで

## 1部昇格狙う

東芝黄金期の一員

1部昇格へ。創部50周年を昨年迎えた国学院大学ラグビーフットボール部は着実に変化を遂げている。2001年、元日本代表で社会人ラグビーでも東芝の黄金時代を支えた伊藤護(38)が監督に就任。当時3部だったチームは翌12

年に2部に昇格。12年、13年は2部リーグ4位(いずれも4勝3敗)と一定の成績を残した。「勝つためには何をすべきか、やらなければならないか、選手たちで考えられるようになってきた」と指揮官。一生懸命、物事に取り組むためのワンクッションとして「エンジョイスタイル」を心



1部昇格を目指す国学院大ラグビー部

◆関東の大学ラグビー 「リーグ戦」グループと「対抗戦」グループの2つに分かれている。「リーグ戦」には流経大、東海大、大東大、法大などが1部に所属。国学院大は2部に所

属しており、2部リーグの上位2位に入ると1部リーグとの入れ替え戦に参加できる。「対抗戦」には、帝京大や筑波大、早大、慶大、明大などが所属している。

掛けしている。その意味には、明るく楽しいというだけでなく、自分を追い込むスティックな楽しさも含まれている。ラグビーだけでなく、学業、寮生活を含めた私生活にも通じるという。

### 温かみのある部

チームスピリットとして掲げるのは「大人と大人の関係」を目指すラグビー。主将の市川理貴(新4年生)は「誰もが意見を言い合えるような環境づくりが大切。熱いハートを持って人間がたくさんいるので、ぶつかり合うこともあるが、これから強くなるチーム」と自信を持つ。プレーヤーでありながら主務も務める吉沢明宏(新4年生)も「温かみのある部。グラウンドに立つと普段からは想像のつかない熱いプレーをする」とチームの成熟を感じている。

また、伊藤監督のチーム意識改革の一つとして、練習のない日を「アクティブレスト」としている。大学生は「休み」と言ってしまうと、1日完全にスイッチを切ってしまうという。「休みの日に、ショッピングでもサイクリングでもいい」と常に体を動かす意識づけをしている。

監督就任4年目を迎えるチームの目標は、一つ。吉沢が「全試合全勝。主務としてもプレーヤーとしても両面で活躍したい」と言えば、市川も「チーム一丸となって全試合で勝利を収め、主将としてけん引していきたい」と1部昇格へ意気込んだ。